

※今後の被災地支援や起こりうる自然災害、日常の防災・減災活動に向き合う学生・一般の方を対象とした研修会です。

# 大規模自然災害における「現場」に学ぶ コミュニティ支援力養成研修会

今回の研修会のテーマは、

災害時の“子ども支援”を考える！

～子どもの心のケアを学び、あらたな活動を創造しよう～  
災害を体験した子どもたちは、個人差はあるにせよ、心になんらかのダメージを受けています。そのことがさまざまなサインとして発信されていても、見落としてしまうこともあります。

この研修会では、見えにくい子どものサインに、どう向き合えばよいのか、そもそも、災害時の環境の変化によって、子どもたちは、どのような環境に置かれるのか等について学びます。

参加費は無料です。定員になり次第、締め切らせていただきます。



副島賢和 (Masakazu SOEJIMA)  
昭和大学大学院保健医療研究  
准教授 さいかち学級担当  
25年間の小学校教諭を経て現職。  
NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」  
に出演のほか、現場での活躍は「赤  
鼻のセンセイ」としてTVドラマ化もさ  
れている。



山本克彦 (Katsuhiko YAMAMOTO)  
日本福祉大学福祉経営学部  
医療・福祉マネジメント学科准教授  
教育・福祉の現場を経て現職。東日本大  
震災では岩手県立大学において災害支援  
に関わる。熊本地震では前震翌日より、現  
地入りし各地の支援を行う。



八重樫綾子 (Ayako YAEGASHI)  
NPO法人いわてGINGA-NET 代表  
岩手県立大学高等教育推進センター  
いわて創造教育コーディネーター  
2011年東日本大震災において、全国の  
学生ボランティアとともに地域支援を行う。  
現在は大学職員としても活躍中。

日時：2016年7月17日(日)10時～16時

場所：熊本県立大学 CPDセンター

対象：災害時の子ども支援について学びたい方

※高等教育機関(大学、専門学校等)の学生

※教員、保育士など子どもにかかわるお仕事の方

※子育て家庭の保護者の方

内容

第1部：災害と子どもの心のケア

10時～12時30分 副島賢和氏

第2部：災害時の子ども支援と実践事例

13時30分～16時00分 山本克彦氏・八重樫綾子氏

※終了後、お時間の許す方は、熊本地震における具体的な  
子ども支援や、そのための準備、学生ボランティアの組織化  
などについて、交流する時間を持ちます。

## ◆交通アクセス◆

公共交通機関等をご活用いただき、お越しください。  
お車での来場も可能です。



【お申し込み・研修会の詳細】 2016年7月1日受付開始 ※定員70名

NPO法人 いわてGINGA-NET公式HPにて アクセスはこちら <http://www.iwateginga.net>

【お問い合わせ】

NPO法人 さくらネット メールアドレスはこちら [cm2016\\_kumamoto@yahoo.co.jp](mailto:cm2016_kumamoto@yahoo.co.jp)

主催：一般社団法人子どものエンパワメントいわて  
NPO法人 いわてGINGA-NET  
NPO法人 さくらネット

共催：  熊本県立大学  地(知)の拠点